2019年2月24（日）

差枚	+1802枚	RANK	A

実戦機種

パチスロ偽物語

実戦レポート

当企画史上最大の-3800枚ものマイナスを叩き出し、しかも高設定らしき台へ辿りつくことすらできず、屈辱の「C級」を獲得したのが、つい先月のこと。
その苦い記憶をありありと残したまま迎えた実戦当日、「同じ轍を踏むわけにはいかない！」と意気込みながら選んだ台は、バラエティの「パチスロ偽物語」（※ARTの方だよ）。過去の高設定投入頻度が高く、しかもこの1ヶ月間で若干の配置変更があり、2台並んでバラエティのかなり目立つ位置へと移動していたので、まだまだ丁重に扱われるのでは？という読みだ。

だが設定推測が簡単ではない機種という印象があるので、良い挙動が早めに来てくれないと粘りづらいんだよなぁ…と心配していたら、最初のボーナスであっさり設定2以上確定画面が出現！　「設定2以上」の捉え方はホールによって、打ち手によって色々あると思うが、オレの中では「設定2 or 高設定」だと考えている。なので、例えばこの後に奇数設定示唆が強ければ「設定5か？」となるし、とにかく設定2じゃないだろうという要素が増えれば増えるほど、イコール高設定と推測できるのではないだろうか。
まぁ、ここでいう高設定とは「4以上」だったり「5以上」だったり「6濃厚」だったりと、それもまたホールによって機種によって違うんだけれども。

さて、今回のオレの台はどうかというと、設定差のある小役やボーナス、ボーナス中のイラスト出現率などは、まぁ高設定といってもいいかな？ぐらいの数値をキープしながら進行。
そうこうしているうちに、予想外のタイミングで発展した連続演出が成功。ん？　ボーナスは無いはずだが…解呪か？　「倖時間っ！」 じゃ、弱チェリーからのART直撃だぁ～～！！

設定1～3だと1/256、設定4では1/128、設定5で1/85、設定6で1/64という数値で抽選される弱チェリーからのART直撃が、この後さらにもう1回出現した時、さすがに設定2じゃないだろうなぁという結論を下すに至った。

実戦の展開については、なかなか珍しい「化物語解呪ノ儀」や倖時間のループに助けられ、後半にかけて20連以上のARTを2回も引けたことで、きっちりと勝利。＋3000枚には及ばなかったが、2/18に続いて「A級」の獲得だ！　…ただ、いつもオレが好んで打っている「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」がこの日は全台高設定だったらしく、**3台平均で5000枚近く出ていた**のが、非常に悔しかった。なぜ、今日なんだぁ～～！！